

水 稲 の 低コスト・省力化技術の ス ス メ

水稲の低コストで省力的な生産技術と現地で取り組まれている事例を紹介します。我が家の経営に合わせて取り入れてみませんか。

チャレンジ

その1：疎植栽培（労働力等の確保が困難な場合に導入検討）
その2：置床鎮圧育苗（成苗ポット楽ちん育苗）

一般社団法人 北海道米麦改良協会

〈監修〉 低コスト・省力化技術検討会議 2017.2

北海道米麦改良協会/ホクレン/道総研中央農業試験場/JA北海道中央会/北海道

「補足」についてー

2017.3/3 発行パンフレット

「水稲の低コスト・省力化技術のススメ」に関する注意事項

疎植栽培は、標準植えに比べ、

1. 出穂期がやや遅れます。
2. タンパク質含有率の変動幅が大きくなり、平均値もやや高くなります。

このため、品種の選定には十分ご注意願います。